演題名	医薬原料用兎飼育農場で多発した疥癬症の病態と衛生指導		
発表者氏名	森田　笑子	所属	伊那家畜保健衛生所

管内の医薬原料用兎飼育農場（飼養羽数210羽）で、1年程前から皮膚病が多発。飼養兎群の6割に蔓延している状況から、病性鑑定を実施。患畜は痩削、元気消失。鼻端・眼瞼縁・耳翼・耳根・頸背部・四肢・尾に脱毛、痂皮形成、落屑、鱗屑、紅斑を認めた。患部被毛・痂皮からは、真菌、ブドウ球菌および疥癬虫を検出。盲腸には蟯虫が多数寄生。畜舎環境は、多量の塵埃や糞が堆積する不適切な衛生状態を確認。同畜舎飼育の複数の兎から、多数の疥癬虫と真菌を検出。病態および蔓延状況から、皮膚病変の主因は疥癬虫によるものと断定。さらに真菌などの複合感染により病状悪化と診断。畜体消毒とイベルメクチン製剤の塗布を主体とした衛生プログラムを作成し、衛生対策および治療を指導・実施。その結果、症状は劇的に改善。畜主の飼養意欲が向上し、一般衛生状態も改善。今後、症状の改善に伴い、繁殖成績の向上と順調な発育による経済効果が期待される。